



葛の葉だより

令和2年 3月19日(木)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため いわき市立小・中学校は臨時休業

■ 3月4日(水)～3月23日(月) 20日間
政府方針に基づき入遠野中学校も臨時休業となりました。休業期間中も学級担任が電話連絡、家庭訪問を行い生徒の皆さんの健康確認と学習や生活の悩みについて相談、指導を行いました。



学校長から休業の目的と時間の使い方を説明

卒業生から先生方へ手づくり謝恩式

■ 3月2日(月) 昼休み
卒業生の皆さんから先生方へ感謝の言葉が記された色紙と歌「3月9日」のプレゼントがありました。先生方全員が胸を熱くし、3年生の思いやりの心をありがたく受け取りました。



第73回令和元年度卒業証書授与式 全校生34名が揃い挙行できました 校長式辞

ここいわき市の奥座敷、癒しの里・入遠野では1月末に梅が、3月に入ると河津桜が開花し、いつもの年よりも早い春がやってきました。特に今年は新型コロナウイルス感染防止のため、3月4日から臨時休業となり、クラスメイト、先生方と時間をかけ3年間で振り返ることが叶いませんでした。集まることができませんでしたが同窓会にも入会し今手にしている証書ファイルをいただいています。

久しぶりに14名がそろい、先程一人ひとりの顔を見ながら心を込めて卒業証書を渡すことができました。みなさん卒業おめでとう。教職員、在校生全員で皆さんの卒業を心から祝福いたします。

思い起こせば学習、部活動、体験活動や町の行事への参加をとおして、額に汗し、友達と一緒に感動の涙を流し、心身を鍛え、自ら未来を切り拓く地力を育んだ3年間でした。

今年度入遠野中学校では教育理念である『在平素』を体現するために、生徒行動スローガン「自主前進」を掲げました。3年生諸君は、学校の顔とはこうあるべきという自覚あふれる姿で自主前進を示してくれました。

皆さんは新しい時代「令和」最初の卒業生です。今私たちは思い立てば地球の裏側まで行けてしまおう、いつでも携帯電話で思いを伝えることができるこの社会はこれまでの先人たちの歴史の結晶です。だから私たちは、ここにさらなる光を与えなくてはなりません。

平坦で順風満帆な日々突如大きな岩が立ちはだかり橋のない川が現れます。今もそうですが、どんな困難な問題にも必ず答えがあります。大切

なことは夢とあこがれを常に胸に抱き、あきらめない気力をもち、再び立ち上がる体力をもち、困難を乗り越える智恵を身につけることです。これからの三年間進学先では新時代令和を生きぬく力・立ち上がる地力を蓄える時間です。

そのためにはぜひ本を読んでください。体のための栄養は3度のご飯でとっています。心も栄養をとらないと育ちません。その栄養源が本です。心は何歳になっても育ち続けます。30歳・40歳・50歳になってもやりたいこと、やらなければならないことにはチャレンジできます。私から贈る言葉は「人生いつでも ヨーイどん」です。

本日の門出を共にお祝いしていただきましたご臨席の皆様にご改めて感謝し、前途洋々たる14名の卒業生への餞の言葉とさせていただきます。



令和元年度3年生 14名 笑顔で入中を卒業

すばらしき入遠野再発見

御齊所街道を古殿から遠野に向かい鮫川の流れをみるとある場所から石の色が青みがかり、入遠野川ではどこでも青色のきれいな石が川畔、川底にあり清流の美しさを引き立たせると思っていました。そこで鮫川石について調べてみたくなりました。

まず古殿町竹貫といわき市遠野では岩石の変成の仕方が異なります。遠野では圧力が高く、温度が低

い状態、古殿では圧力が低く、温度が高い状態であったので、色合いも違った鉱物になります。また岩石土砂の性質も異なり、遠野は太平洋の底にたまった岩石が移動し熱で変成したものです。調査によるとジュラ紀に溜まった地層が白亜期（約1億4,500万年前から6,600万年前）に変成したと考えられています。古殿ではまだ阿武隈高地がない頃、アジア大陸の端から移動してきた土砂・岩石が変成したと言われています。入遠野には枕状溶岩（ピローラバー）という岩石がありこれは海底火山や海の近くの火山から溶岩が海中に流れてできた証拠です。

鮫川石と言っても入遠野のものは独特の美しい青緑色で庭石としても珍重されてきました。

ここ入遠野はかつては海の中だったと想像でき、悠久の時の流れを経て地球の息吹が作り出した美しい鮫川石に囲まれ、幾つかの清流が流れる山紫水明の土地、太古のロマンに満ちたふるさとです。

東京国立博物館所蔵となっている誠に稀有な縄文時代の冷水遺跡から出土した人面付石器、京の都と類似した多くの地名や有宇中将と朝日姫の伝説、4年に一度の大山祇神社の大祭、棚倉藩や塙代官所がこの地の優位性を認め水路を築き新田開発を進めたことから魅力ある土地であることがわかります。

また伝統産業となった遠野和紙にまつわる楮騒動、平子重郎平の武勇伝などからも歴史の豊かさを実感できるところです。

縁あってこの地に生まれた少年少女たちには、入遠野で育ったこと、入中で学んだことに誇りを持ってもらいたいと願っています。そのためには地域の皆様の協力を得ながら、これからも地域理解を深め、地域の人や行事と関わり、入遠野のよさを実感できる学習を進めてまいりたい所存です。



入遠野川・折松川の合流地点の鮫川石